

# マダニ対策、今できること

1. マダニの生息場所
2. マダニから身を守る服装
3. マダニから身を守る方法
4. 忌避剤の効果
5. 国内で入手できる忌避剤の種類と特徴



参考資料

- 1) マダニの分類とマダニ媒介感染症
- 2) マダニ媒介SFTSとは
- 3) マダニの生活環

Kana S. Illustrations  
衛生昆虫写真館 Photos

## マダニ対策に関するお問い合わせ

国立感染症研究所昆虫医科学部

Tel: 03-5285-1111 (代表)

Fax: 03-5285-1178

e-mail: [info@nih.go.jp](mailto:info@nih.go.jp)

## SFTS対策全般に関するお問い合わせ

国立感染症研究所

Tel: 03-5285-1111(代表)

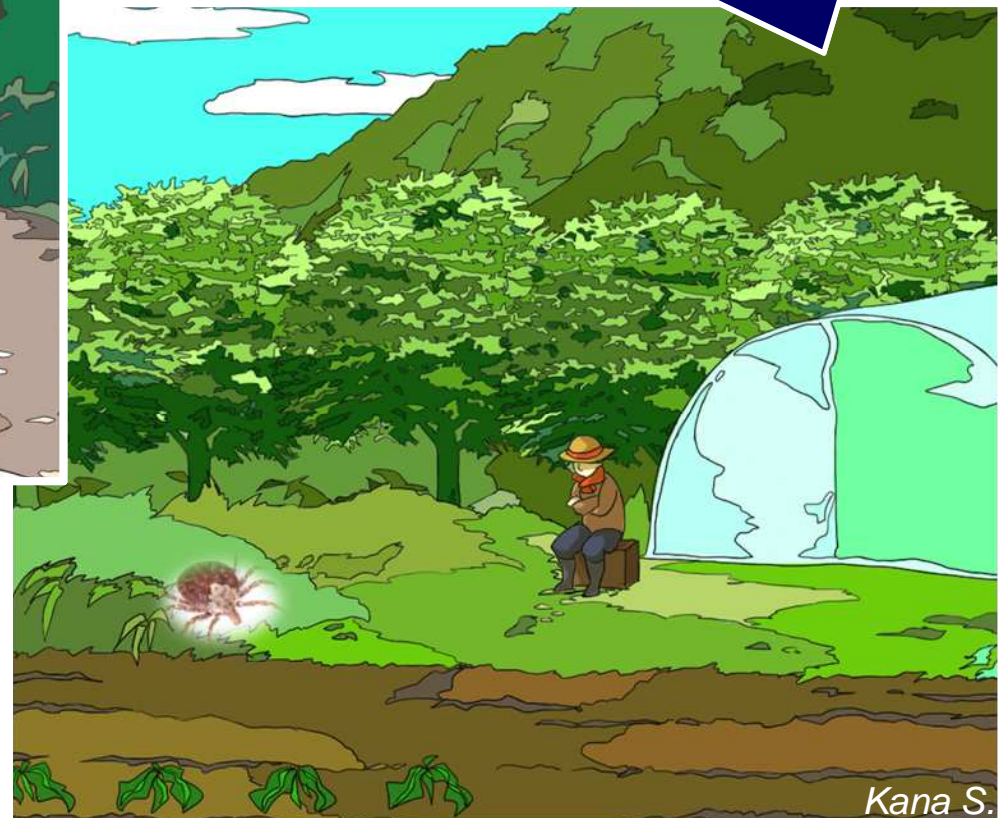
厚生労働省健康局結核感染症課

Tel: 03-5253-1111(代表)

# 1. マダニの生息場所



**マダニ**は、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しています。

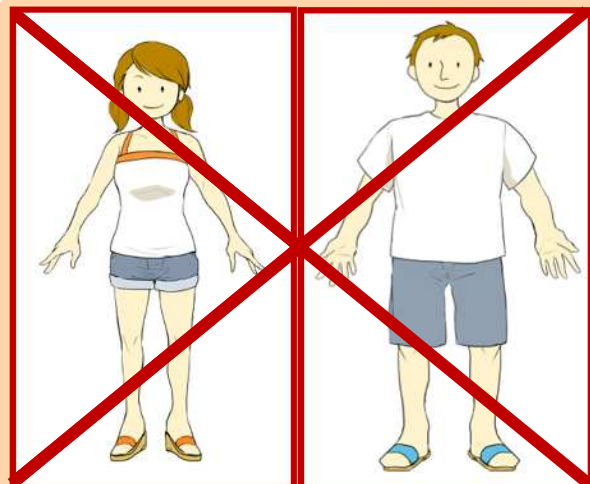


**マダニ**は、シカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する環境に多く生息しています。

## 2. マダニから身を守る服装

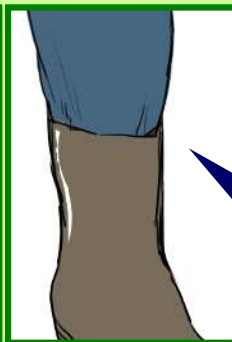
野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう！

首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう。

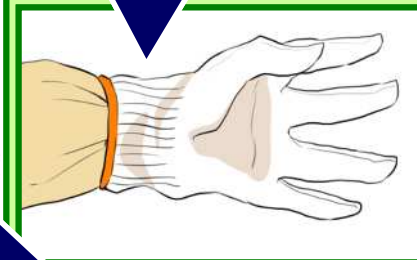


半ズボンやサンダル履きは不適當です！

ハイキングなどで山林に入る場合は、ズボンの裾に靴下を被せましょう。



シャツの袖口は軍手や手袋の中に入れてみましょう。



シャツの裾はズボンの中に入れてみましょう。

農作業や草刈などではズボンの裾は長靴の中に入れてみましょう。

### 3. マダニから身を守る方法

**上着や作業着**は、  
家の中に持ち込まない  
ようにしましょう。



屋外活動後は、  
**シャワーや入浴**で、  
ダニが付いていないか  
チェックしましょう。



**ガムテープ**  
を使って服に  
付いたダニを  
取り除く方法  
も効果的です。

ダニ類の多くは、長時間（10日間以上のこともある）吸血します。吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り化膿することがあるので、皮膚科等の医療機関で、適切な処置（マダニの除去や消毒など）を受けて下さい。

**マダニに咬まれたら**、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けて下さい。

## 4. 忌避剤の効果

### マダニに対する忌避剤

(虫よけ剤) が、2013年から

新たに認可されました。

現在は、ディート、イカリジンの

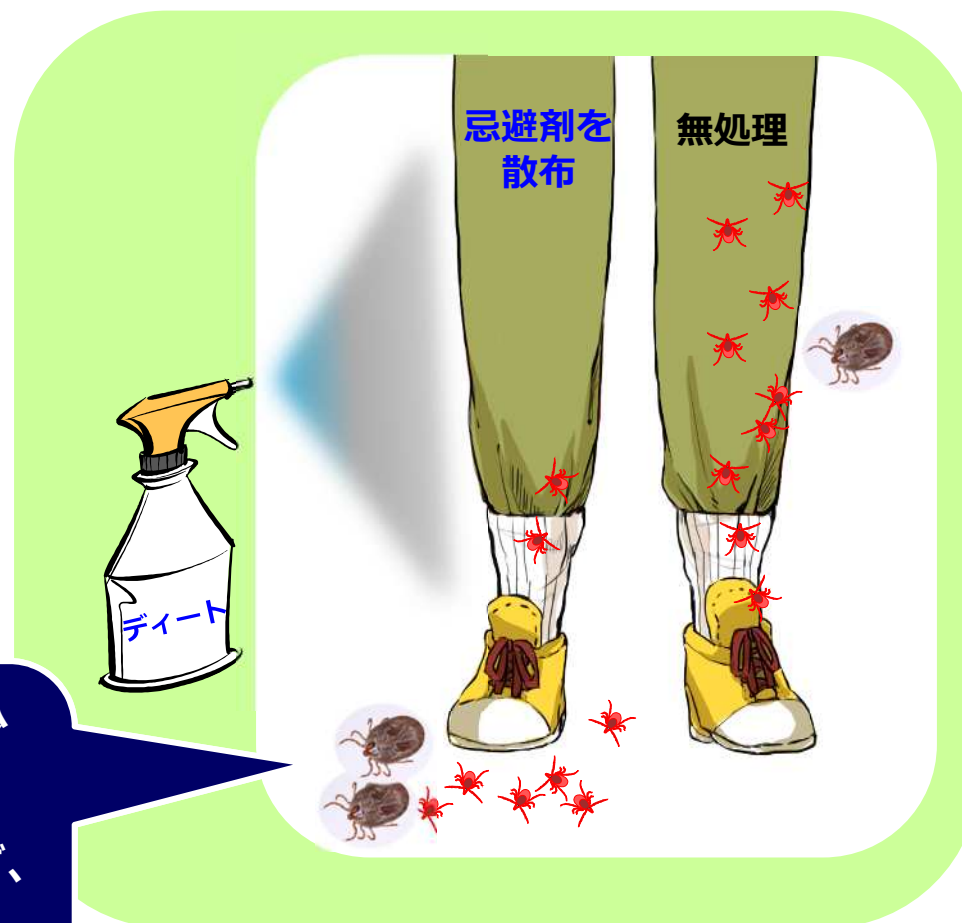
2種類の有効成分の忌避剤が市販

されています。

**忌避剤**の使用でマダニの付着数は減少

しますが、マダニの付着を完全に防ぐ  
わけではありません。忌避剤を過信せず、

様々な防護手段と組み合わせて対策  
を取ってください。

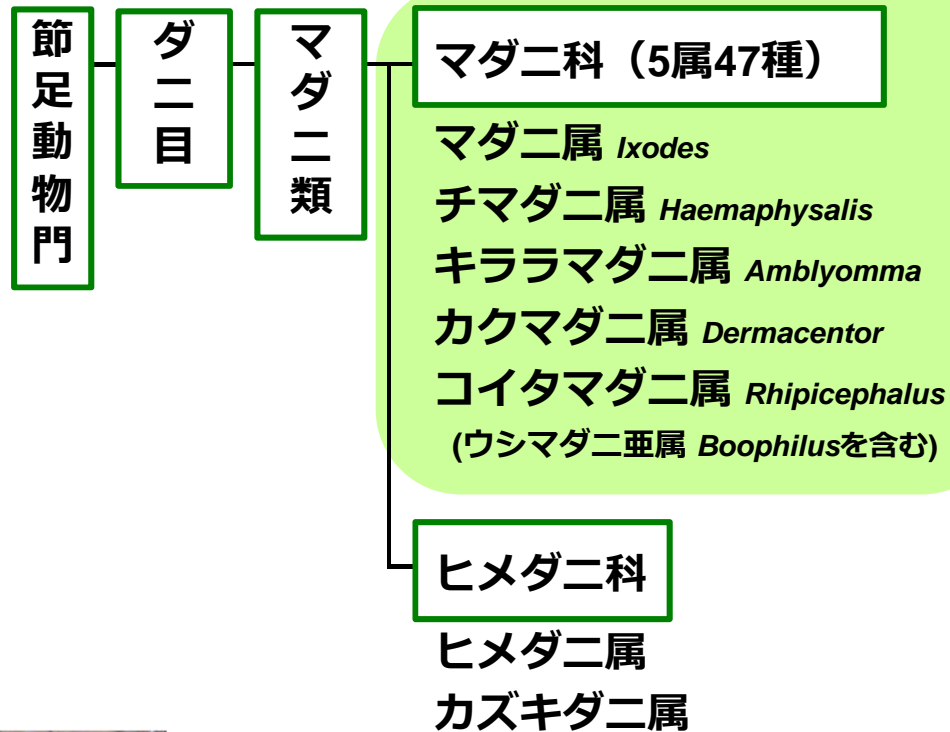


## 5. 国内で入手できる忌避剤の種類と特徴

忌避剤	有効成分含有率	分類	効力持続時間	注意事項	特徴
ディート	5~10%	防除用 医薬部外品	1~2時間	6ヶ月未満 児には使用 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独特の匂い</li> <li>・べたつき感</li> <li>・プラスチック・化学繊維・皮革を腐食することもある</li> </ul>
	12%	防除用 医薬品	約3時間		
	高濃度製剤 30%	防除用 医薬品	約6時間	12歳未満は 使用禁止	
イカリジン	5%	防除用 医薬部外品	~6時間		
	高濃度製剤 15%	防除用 医薬品	6~8時間		

# 参考資料 1) マダニの分類とマダニ媒介感染症

**マダニ**は、世界中に800以上の種が知られています。そのうち日本には47種が生息しています。



## マダニが媒介する感染症

( ) 内は病原体の種類

日本紅斑熱 (リケッチア)  
Q熱 (リケッチア)  
ライム病 (スピロヘータ)  
ボレリア症 (細菌)  
野兔病 (細菌)

## 重症熱性血小板減少症候群 SFTS

(フレボウイルス)  
ダニ媒介性脳炎 (フラビウイルス)  
キャサヌル森林病 (フラビウイルス)  
クリミア・コンゴ出血熱  
(ナイロウイルス)

.....など

# 参考資料 2) マダニ媒介SFTSとは

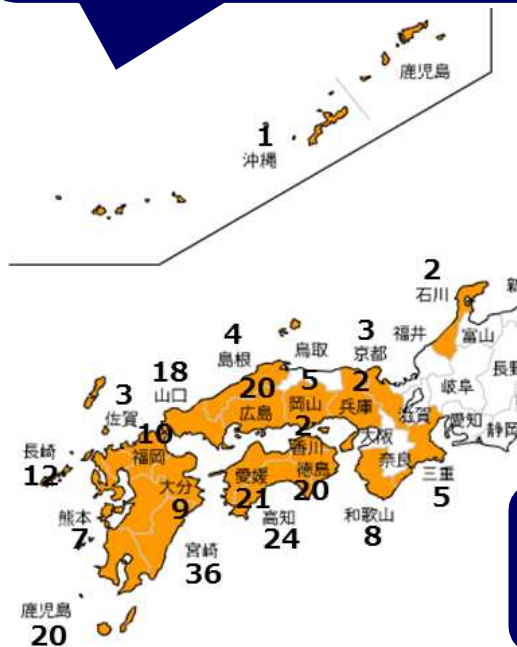
重症熱性血小板減少症候群 (Sever fever with thrombocytopenia syndrome: SFTS)

これまでに、**中国・日本・韓国**でSFTSの患者が報告がされています。中国では**フタトゲチマダニ**と**オウシマダニ**からウイルスが見つっています。



**ウイルスの潜伏期間は** (マダニに咬まれてから) **6日~2週間**とされています。

2016年は、西日本を中心とした21府県から届出されています。( )内は発症数



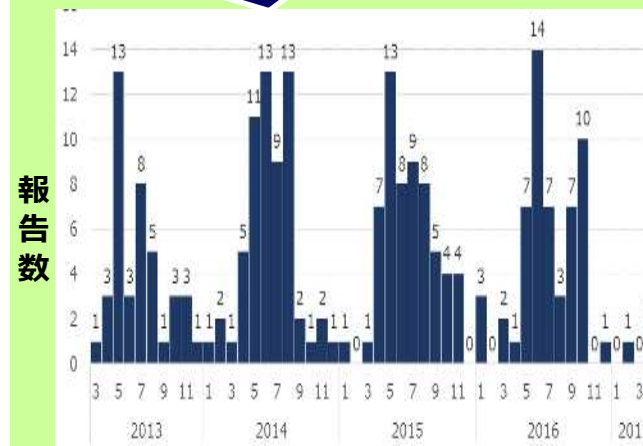
## SFTS患者報告基本情報

合計		232名
性別	男	111
	女	121
年齢	中央値	73歳
	~20代	2
	30代	4
	40代	4
	50代	15
	60代	66
	70代	65
80代	70	
90代	36	

(2017年4月26日 現在)

2013年1月1日以降に報告された患者 (合計232名) です。

SFTS患者は**5~8月に**多く発症しています。



患者発症月

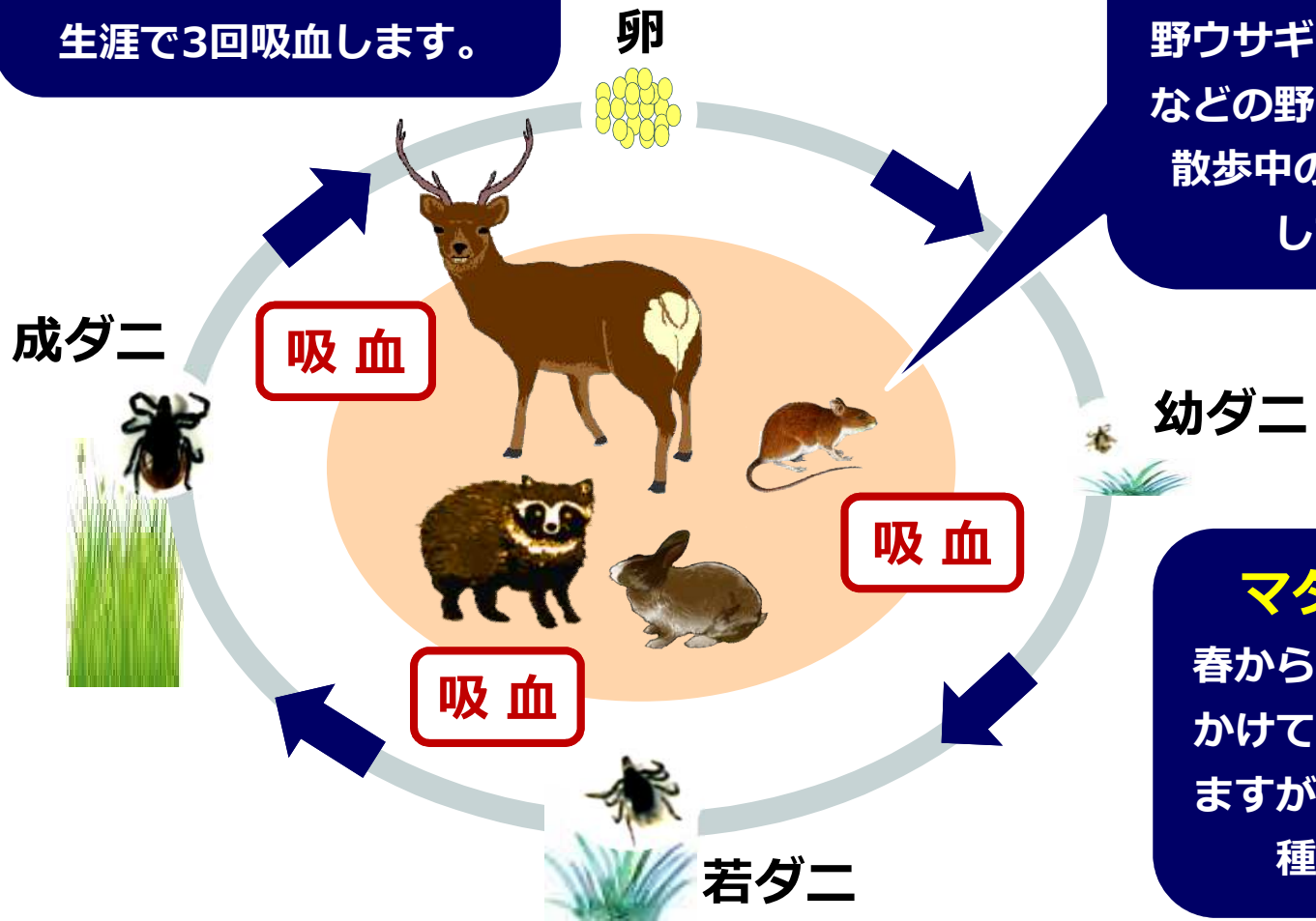
資料は、国立感染症研究所ホームページ：  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/sa/sfts.html>を引用



# 参考資料 3) マダニの生活環

**マダニ**は、  
幼ダニ、若ダニ、成ダニ  
の各ステージで1回ずつ、  
生涯で3回吸血します。

**マダニ**は、  
ヒト以外に、野ネズミ、  
野ウサギ、シカ、イノシシ  
などの野生動物や、ネコ、  
散歩中のイヌなども吸血  
しています。



**マダニ**の多くは、  
春から秋（3～11月）に  
かけて活動が活発になり  
ますが、冬季も活動する  
種類もいます。